

令和4年度 第61回福島県芸術祭主催行事一覧

(1) 重点地区の広域的文化団体が実施する行事

No.1

整理番号	行事名	主催者(主管)	開催月日	開催場所	実績	事業内容
1	第61回 福島県芸術祭開幕式典 及び開幕行事	福島県芸術祭 県中地区 実行委員会	9月4日(日) (13:00~14:40)	田村市文化センター	出演団体数 4団体102名 来場者数 560名	メインテーマ「文化は心 心をつなぐ 文化の祭典inたむら」のもと開幕式典・開幕行事を、基本的感染防止を徹底し有観客で開催。民謡と流し踊りによるオープニングで始まった式典ののち、4団体が演目を披露。

(2) 全県的的文化団体が実施する主催行事

整理番号	行事名	主催者(主管)	開催月日	開催場所	実績	事業内容
2	第89回 福島県美術協会展	福島県美術協会	10月15日~ 10月23日	とうほう・みんなの 文化センター	出品点数 208点 来場者数 2114名	厳正な審査の結果、会員55点・会友30点・一般97点・高校生26点を展示。昨年比26点減であったが、力作大作が多く見応えのある展覧会となった。会員の高齢化が否めない中、一般の部で2名の高校生が佳作入賞の快挙を遂げた。
3	第58回 福島県彫刻会展	福島県彫刻会	10月15日~ 10月23日	とうほう・みんなの 文化センター	出品点数 41点 来場者数 2000名	出品点数41点で会場いっぱい埋めて盛況であった。年々鑑賞する階層も増えてきて、本県の文化振興に貢献できていると思う。会員もさらに向上を目指し意気込む展覧会になった。
4	第50回 福島県写真展	福島県写真連盟	11月1日~ 11月6日	とうほう・みんなの 文化センター	出品点数 307点 来場者数 1131名	県内及び本県出身者による県内最大の写真展を開催。今年度は一流写真家、野町和嘉氏による、一部公開での審査の結果、一般の部・委嘱の部計51名の入賞者が決定し表彰した。
5	第76回 福島県合唱コンクール	福島県合唱連盟	8月26日~ 8月28日	會津風雅堂	出演者 1866名 来場者数 636名	小・中・高・大・ユース・一般の団体が東北支部大会予選を兼ねてのコンクールで、上西一郎、佐藤正浩、三宅悠太、本山秀毅、山脇卓也氏の各審査員により、出場団体を決定した。
6	第60回 福島県吹奏楽コンクール	福島県吹奏楽連盟	①7月28日 ~29日 ②8月6日 ~7日	①喜多方プラザ ②いわき芸術文化交 流館「アリオス」	出演者数 5000名 来場者数 5403名	5支部の地区大会で代表として選出された小・中・高・大・一般の部の125団体が全日本吹奏楽コンクール東北大会の予選大会を兼ねてのコンクール。それぞれの部から計20団体が県代表に決定した。
7	第54回 福島県三曲連盟演奏会	福島県三曲連盟	11月27日 (12:00~16:30)	須賀川市 文化センター	出演者数 82名 来場者数 260名	県内5支部制を設けており、開催担当の県南支部から7曲、各支部から1から2曲の計13曲の日本伝統音楽を発表。この演奏会の経験を生かし、各地域において日本伝統音楽の継承と普及に努めたい。
8	第39回 福島県 「現代吟詠のつどい」	福島県吟詠家協会	10月15日 (10:00~15:30)	迎賓館辰巳屋 (田村市)	出演者数 195名 来場者数 250名	会津・田村地区を実行委員として開催。感染対策として、マイクのカバーを一吟ごとに交換しての演技だったが成果を発表できた。ふるさと賛歌では会津地区会員による「おけい物語」を和歌と詩吟にて朗詠し大会を盛り上げた。
9	令和4年度 福島県吟剣詩舞道 第54回大会	福島県吟剣詩舞道 総連盟	10月23日 (9:00~17:00)	會津風雅堂	出演者数 500名 来場者数 100名	吟剣詩舞愛好者が集い風雅堂で日本文化の昂揚を図りその発表。また、青少年の活動として高文祭東京大会に参加の高校生がその結果を発表した。
10	令和4年度 福島県芸術祭第61回 俳句大会	福島県俳句連盟	誌上開催		出句者数 356名	コロナウイルス感染防止のため誌上大会とした。参集方式の大会は行わないため公募作品2374句の選考結果を作品集としてまとめ、参加者に送付した。
11	第70回 福島県短歌祭	福島県歌人会	10月16日 (9:30~16:00)	ホテル 福島グリーンパレス	出品点数 572点 来場者数 100名	応募作品を、歌誌「かりん」編集人の酒井修一氏が、作品の批評とともに優秀作品を表彰。また第70回を記念し酒井氏による「悲劇の時代を歌う」と題する講演を行った。ジュニアの部423首からも優秀作品を表彰、後継者育成に努めた。
12	福島県芸術祭「第43回 詩祭・講演と朗読のつどい」	福島県現代詩人会	11月6日 (13:30~16:30)	福島県立図書館	出演者数 13名 来場者数 135名	講師に太宰治を父とする太田治子氏を迎え「心に届く『詩』のことは」を題に講演が行われた。また開催できなかった2年間に逝去された会員5名の作品を現会員が朗読。参会者の胸に響き、会の存在と活動を再認識できた。

整理番号	行事名	主催者(主管)	開催月日	開催場所	事業内容
13	第61回 福島県芸術祭 川柳大会	福島県川柳連盟	誌上開催		参加者数 82名 選者8名 あいつ川柳会が担当で開催。コロナウイルスの猛威が収束しないため、参加者の安全を考慮し誌上開催とした。課題は疫病退散の言い伝えがある赤べこの頭文字で「赤」「便利」「好奇心」と「自由吟」82名の参加を得て15位まで表彰。
14	第58回 福島県おかあさん 合唱祭	福島県おかあさん 合唱連盟	10月9日 (10:30~15:40)	須賀川市 文化センター	出演者数 432名 来場者数 562名 27団体(1団体欠場)が出演し、素晴らしい響きのホールで、気持ちよく歌うことができ、日ごろの成果を発表することができた。講師の先生から各団に講評を頂き、今後の練習の向上に役立てたい。
15	第36回 ふくしま民謡のつどい 2022	福島県民謡連盟	11月20日 (9:30~15:00)	田村市文化センター	出演者数 297名 来場者数 487名 県内6支部から選抜された民謡愛好者によって、支部の特色を生かし創意工夫を凝らして披露した。地元田村市舞踊団体の賛助出演もあり華を添えていただくなど交流が深まった。
16	福島県書作家連盟 第38回展	福島県書作家連盟	12月9日~ 12月11日	とうほう・みんなの 文化センター	出品者数 70名 来場者数 237名 書道文化の振興のため連盟展を開催と同時に県展委嘱作家展、県展上位受賞者展を開催。更に今年度は「日本諸名家跡展(九)ー江戸後期ー」を展示した。例年の講演会は感染防止のために中止とした。
17	第61回 福島県書道協会展	福島県書道協会	10月28日~ 10月30日	とうほう・みんなの 文化センター	出品点数 766点 来場者数 2637名 公募作品を審査766点を展示した。漢字(2~10字・11字以上)仮名、詩文書、一字書、篆刻刻字、臨書の7部門に分け、それぞれの専門性を尊重した総合書展となった。出品数の減少はコロナ禍、高齢化の影響かと思われる。
18	第47回 福島県観世流 謡曲・仕舞大会	福島県観世流連合会	10月9日 (9:30~15:00)	下郷ふれあいセン ター(下郷町)	出演者数 66名 来場者数 160名 コロナ感染防止のため2年間の中止を経ての開催となったが、会員の減少が目立ち6支部のうち2支部が休眠の現状の中、在会員の動員を促し開催にこぎつけた。聴衆の熱意に応えるべく演者一堂盛り上がった大会だった。
19	第38回 福島県声楽協会演奏会	福島県声楽協会	11月27日 (13:30~16:30)	會津風雅堂	出演者数 19名 来場者数 286名 歌唱芸術の普及・技術の向上を目的とした協会会員の演奏会。風雅堂という恵まれた環境と来場者の温かい拍手に出演者一堂、演奏できる喜びを大きく感じることができた。
20	Fukushima Dance Festival 2022	福島県洋舞連盟	8月28日 (13:30~15:00)	とうほう・みんなの 文化センター	出演者数 46名 来場者数 153名 出演者・スタッフの抗原検査を陰性者であることを確認のうえ開催。公演も三部構成とし間に休憩を入れ換気を徹底した。小ホールでの舞台は初めてだったが各団体ともに工夫を凝らし無事幕を下ろせた。
21	第48回 福島県日本画協会展	福島県日本画協会	9月28日~ 10月2日	とうほう・みんなの 文化センター	出品者数 47名 来場者数 400名 会員が日ごろから研鑽を重ね、制作した作品を県内の多くの人に鑑賞していただくため開催。
22	第21回 福島県宝生流謡曲大会	福島県宝生流連合会	10月13日 (9:30~16:00)	いわき芸術文化交流 館アリオス	出演者数 50名 来場者数 200名 県内3支部全会員が参加し出演。番組は素養「枕慈童」仕舞「蟬丸」のほかを演じ、互いに交流を深め親睦を図ることができた。
23	福島オペラ協会 第12回 メンバーズコンサート	福島オペラ協会	10月23日 (14:00~16:00)	こむこむ わいわいホール	出演者数 15名 来場者数 54名 コロナ禍を考慮し入場無料の措置を取り開催。メンバーズコンサートの宣伝活動が遅かったため観客は少なかったが評価は概ね好評だった。
24	第46回福島県書道 連盟展	福島県書道連盟	10月7日~ 10月9日	とうほう・みんなの 文化センター	出品点数 1112点 来場者数 2300名 県内小中高校、大学短大専修学校及び書塾、書会、一般の作品審査し選抜展示する。作品集も合わせて発行。
25	第34回 福島県篆刻会展	福島県篆刻会	9月16日~ 9月18日	コラッセふくしま	出品者数 34名 来場者数 140名 万全のコロナ対策を施し、実演コーナーを設けて実際に刻している様子をご覧いただくと同時に、参考品の展示、DVDの放映等工夫を凝らして開催した。結果前年度の4割増の来場者にご覧いただいた。
26	第46回福島県版画展	福島県版画会	8月24日~ 8月28日	会津美里町 じげんプラザ	出品者数 54名 来場者数 405名 例年より若干出品者数及び作品数の減少は見られたが、様々な技法を駆使した個性豊かな作品が数多く展示された。町立の施設での開催は初めてであり、地域の方々との交流も活発に行われた。
27	第21回 しゃくなげコンサートin 二本松	福島県 ハーモニカ協会	9月4日 (13:00~15:50)	二本松市 安達文化ホール	出演者数 144名 来場者数 208名 2年間開催を中止して、待ちに待った定期演奏会を開催し、県内15のハーモニカ愛好グループ、144名が参加。例年、プロの演奏家をゲストに迎えミニ演奏会を行っていたが、コロナ禍により中止とした。

主催行事 27 総来場者 20,918名